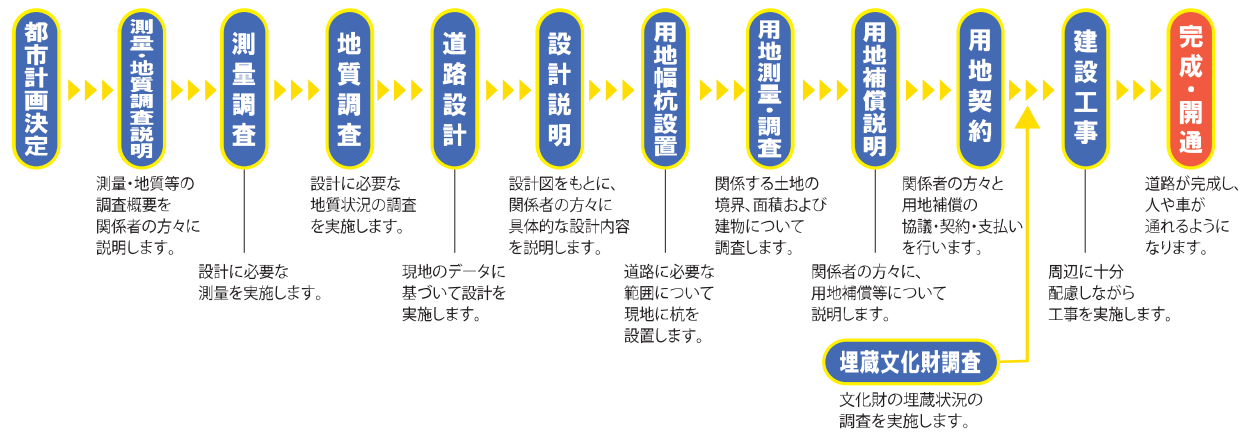
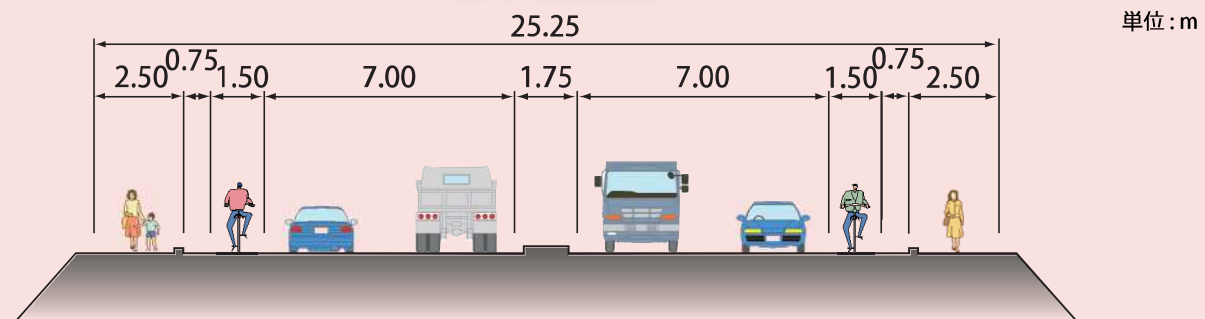


事業の流れ



標準横断面図



※標準横断面図は代表的な断面であり、場所によって異なる場合があります。

計画諸元

路線名	国道50号	標準幅員	25.25 m
延長	6.3km	車線数	4車線
区間	自:茨城県筑西市横塚 ^{ちくせい よこつか}	道路の区分	3種1級
	至:茨城県桜川市長方 ^{さくらがわ おさかた}	設計速度	80km/時

国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所

<https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>



常陸河川国道事務所

〒310-0851
茨城県水戸市千波町1962-2
TEL 029-240-4061 (代)



岩瀬国道出張所

〒309-1455
茨城県桜川市水戸209
TEL 0296-75-2476

50

国道50号

協和バイパス

協和バイパスは、速達性向上や交通事故の減少、物流ネットワークの確保を目指します。



KYOWA BYPASS

協和バイパスは、速達性向上や交通事故の減少、物流ネットワークの確保を目指します。

事業の内容

群馬県前橋市と茨城県水戸市を結び茨城県の東西軸を担っている国道50号において、当該区間は県内の国道50号における2車線区間で混雑度がワースト1位となっており、速度低下に起因する交通事故が発生しています。

協和バイパスは、交通容量を確保することによる幹線道路の速達性向上や、交通事故の減少による安全性確保、道路ネットワークの連携強化による物流生産性の向上に寄与する事業です。

事業経緯

平成22年7月	都市計画決定
令和2年4月	事業化(L=6.3km)

航空写真



① 筑西市側 (R2.2撮影)



② 桜川市側 (R2.2撮影)



▲門井交差点付近の混雑状況



▲国道50号を通る物流車両

位置図



整備効果

協和バイパスを整備することによって、以下のような効果が期待できます。

● 幹線道路の速達性向上

当該区間整備により、交通容量を確保し国道50号の速達性が向上します。

● 幹線道路の安全性確保

渋滞ボトルネックの解消により、著しい速度低下に起因する交通事故が減少します。

● 道路ネットワークの連携強化による物流生産性向上を支援

国道50号の隣接区間や筑西幹線道路との連携強化による物流生産性の向上に寄与します。



電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成